

## 新入生のみなさんへ

学長 山本和人

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。創立 140 周年を来年に迎え、自主自律を建学の精神とし、愛情・勤勉・聡明を生活信条とする、伝統ある東京家政大学・東京家政大学短期大学部（以下「大学」）にお迎えし、教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。

皆さんの学びのスタートが、新型コロナウイルスの脅威により、例年とは異なるものとなってしまいました。しかし、それに負けず、先生方と一緒に授業を創り上げ、有意義なスタート切って欲しいと思います。ここでは、大学での学びについていくつか知っておいていただきたいことをお伝えしたいと思います。

まず、大学での学修は、高等学校までの学びを基礎としています。長文を読み難解な言葉に出会ったり、講義内容の把握が大変であったり、困難な場合もあるでしょう。そうした学びを基に、自分で考えられるようになるという主体的なかがわりが大切です。そのためにもクラスの仲間との切磋琢磨を心掛け、成長していきましょう。

2つ目に、学ぶ上では問題意識・課題意識が大切です。同時に、それらの問題や課題に常に答えがあるとは限らないのです。今までは、教科書の質問や問題には必ず解答があり、正解が明示されてきました。これから皆さんが向かっているところでは、自分で答えを見つけ、探すことが求められます。

3つ目に、大学教育は、特に研究面では将来は独り立ちすることを目指して教育が行われます。研究する者として自分自身の力を頼りに研究を進め、正解、最適解を導き出すことになります。研究方法も実験なども、自分でできることを目指します。

本学では、2018 年度から、「ひとの生（Life）を支える学の構築」事業を始めました。家政学の分野が広くなり、家政学がわかりにくいとも聞こえてくる中で、大学として特色ある教育・研究を創り上げ、社会に知ってもらいたいからです。

新入生の皆さんが楽しく、たくさん学ぶことができる大学にしていきたいと思います。どうぞ、皆さんと一緒に東京家政大学・東京家政大学短期大学部をつくりましょう。